

◆小泉勝委員 午前中の小島隆委員の道路利用、あるいは歩きたくなるまちづくりと重なるような質問になって大変恐縮ですけれども、せっかくなのでお話しさせていただきたいと思います。見附市ではコンパクトシティーの形成に向けて、歩いて暮らせるまちづくりを市民に定着させ、健康増進を図る、健幸都市スマートウエルネスみつけの実現に取り組んでいるところであります。そうした健康を切り口とする観点から、まちづくりについて考えてみたいと思います。そもそも健康のために運動したい層と、運動をしてもいい興味のある層と、全く運動をしたくない興味のない層とありまして、その運動したくない人をどう運動に導いていくのかという観点から、いろいろな自治体で健康ポイントなども導入されているところです。健康ポイントの上限は自治体によって違うかもしれませんが、見附市では6,000ポイントが上限で、商品券と交換できたりするわけですけれども、健康ポイントがあってもなお運動したくないというかたもいらっしゃる。では、そういった人たちをどうやって運動に、健康に結びつけていくのかという観点から、やはり歩いて外に出て行きたくなるような歩行空間ですとか、景観、あるいは遊びに行きたくなる場所があったり、仲間がいたり。そういったハードとソフトと、両面兼ね備えたまちづくりが必要だということになります。

昨年かと思いますが、新総合交通・防災対策特別委員会がコミュニティバスの視察で見附市を訪れました。これは年を取っても、高齢者になっても、あるいは車が運転できなくなっても友達に会いに行ったり、遊びに出かけていったり、買い物に行ったりできるようなところを街に作りまして、そこでコミュニティバスを走らせるということで、年々コミュニティバスの利用者も増加しています。コミュニティバスは各地にありますけれども、その中でも成功事例の一つではないかと。現在、年間利用者数が20万人に迫ろうとしているところでございます。県としても、市町村が取り組む魅力あるまちづくりを推進するために、あるいはまた健康立県を進めるためにも、こうした市町村に対し積極的に支援するべきではないかと考えますけれども、具体的な県の取組についてお伺いさせていただきます。

◎安藤善紀都市整備課長 市町村が取り組む、魅力あるまちづくりへの県の支援についてです。県では、市町村が取り組むまちづくりを支援するため、社会実験やワークショップ等の調査検討を対象とした、にぎわい空間創出支援モデル事業を平成30年度に創設し、これまで13地区で実施しており、駅前広場の活性化や施設のリニューアル計画等に生かされております。今ほどお話のありました市民の健康に対する取組として、具体的な事例としましては、見附市においてまちなかの歩行者の回遊を促すことを目的に、散策コースの検討やスタンプラリーイベントなどの社会実験を実施しております。スマートウエルネスみつけの一層の推進につながることを期待されております。この事業を活用してもらうことにより、引き続き市町村が進める、魅力あるまちづくりを支援してまいりたいと考えております。

◆小泉勝委員 先ほども申しましたように、県としても健康立県ということで進めているところであります。さらなる取組に御支援を頂きたいと思っているところであります。

続いて、都市計画道路見附下新町線の整備についてお伺いをさせていただきます。都市計画道路見附下新町線は、JRの見附駅から見附市街地を通りまして長岡へ向かう道路です。途中小学校の通学道路もたくさんありまして、橋もあります。見附市街の中心的役割を果たす幹線道路であります。この路線において、一部区間の歩道がない場所、あるいは線形、見通しも悪いことから、安全で快適な歩行空間及び円滑な通行の確保が住民から望まれているところであります。現在、県においてもさまざま取組をしていただいているところですが、この取組について、見附下新町線の整備状況、現在の進捗状況及び今後の見通しについてお伺いさせていただきたいと思います。

◎安藤善紀都市整備課長 都市計画道路見附下新町線の整備状況についてですが、見附下新町線につきましては、小学校の通学路となっておりますけれども、歩道がなく、線形が悪いため見通しがきかない区間があり、通学路交通安全プログラムにおいて、要対策箇所に指定されております。この内、見附市南本町から下新町の瑞祥橋を含む、延長約 660 メートルの区間につきましては、現道に架かる瑞祥橋は昭和 39 年に架設され、歩道がなく、老朽化が進んでいる状況となっております。瑞祥橋の架け替えとともに歩道を整備することにより、円滑な通行や通学路の安全が確保され、だれもが安心して快適に利用できる道路空間となります。現在、橋梁工事などを行っており、今年度中の供用開始を目指して整備を進めてまいります。また、学校町から新町の延長約 960 メートルの区間につきましては、本年度新規事業として着手いたします。引き続き安全快適な歩行空間及び円滑な通行が確保されるよう事業を進めてまいります。

◆小泉勝委員 後段の学校町の約 960 メートルのところでしょうか、今後、県道と市道の付け替えが予定されていると伺っております。瑞祥橋の架け替えにつきましては、ちょうど私の自宅と事務所の間に瑞祥橋があるものですから、実は毎日瑞祥橋を通っているわけがあります。毎日進捗状況も見せていただいているところですが、地元のかたがたからは、常に大きな期待を持って見ていただいているかと思っております。いちばん最初の計画からいくと、工事の変更が出て、少し遅れたと記憶しております。令和 3 年度中の供用開始ということでお伺いをしていますが、ぜひ遅れないように工事をしていただきたいと思います。昨日か一昨日に、見附市議会の所管事務調査で、現地調査に入ったようであります。市民も大変期待をしている橋ですので、どうか順調な工事をお願いして、質問を終わります。